

# ゆいのき 三二

速報版 39

R3.2.12

室田和宏

## 卒業書道に挑戦！

卒業生が伝統的に取り組んできた「卒業書道」今年も、このコロナ禍、緊急事態宣言もあり継続のピンチを迎えていました。例年ご指導をいただいている赤澤寧生先生とも協議を重ね、何とか実現することができました。

当日、赤澤先生に来ていただくことは無理なので、事前に課題の文字を郵送でお送りして、添削をお願いしました。大きな用紙を作成するには大人の手が必要、そこでスクールサポートの4名に勢ぞろいしていただき、前日から準備を始めました。なにせ扱うのが繊細な書道用紙、昔ながらの“のり”で1枚ずつ張り合わせるのですから大変です。赤澤先生ら専門家のアドバイスもいただけませんから、6年生全員の協力が不可欠。1時間たったところには見事な作品？が完成していました。本当に自慢の最上級生です。当日のダイナミックな卒業書道の様子は、学校ホームページに紹介しています。是非“城央小日記”で検索してご覧になってください。



### 「今日クラブ見学があるんですよ！」

朝一番で3年生が声をかけてくれました。社会科や理科の学習が新しく始まって中学年の仲間入りをして早一年、いよいよ来年からはクラブ活動が始まります。絵本の国に掲示されている各クラブのポスターを見ながら、どのクラブに入ろうかと目を輝かせています。グループごとにいくつかのクラブを見学したようですが、やる気に満ちた3年生、さすがに態度も立派でした。上級生が優しく活動内容の紹介をしてあげたり、元気いっぱい楽しい様子を伝えてあげたりして、さらに希望が膨らんだことでしょう。

みりょくきょう

### 魅力協 (魅力ある学校づくり地域協議会)

2月8日には魅力協の定例会議(第4回)を開催し令和2年度を総括しました。学校マネジメントアンケートの結果を地域の視点から考察していただき、次年度の課題を明確化しました。本年度はコロナ禍で、「学校へ泊まろう」「てくてくまちさんぽ」「やきいも焼けるかな」といった恒例行事を中止にせざるを得ませんでした。渡辺会長はじめ協議会の皆様の「何か子どもたちにできることを」との強い思いで開催した「お楽しみ会」は大盛況で、また、あいさつ運動の成果も表れ、委員一同、次年度への意欲を新たにしました。まごころサポーターさんからは「気持ちの開放されている下校時、安全確保が急務。保護者によるできる範囲での見守り充実を」との貴重な意見があがりました。学校でも安全な下校について改めて指導してまいります。ご協力をお願い致します。



# ゆいのき 三二

速報版 40

R3.2.22

室田和宏

## 自然に“ありがとう”が言える人に

先週的生活目標は「地域の方々に感謝の気持ちであいさつをしよう」でした。2月も下旬、1年間お世話になった人への感謝の気持ちを醸成していきたい時期です。17日には児童会主催の「地域の方に感謝する会」が開催されました。いつもでしたら、普段お世話になっている方々と顔を合わせるとても貴重な機会となるのですが、今回それはかないません。地域の方を代表して魅力協の渡辺道仁会長に來校していただき、TV放送で行いました。



進行役は企画委員会の道明見友希さん。「いつも私たちを見守っていただきありがとうございます。……これからも楽しい行事をよろしくお願いします。」とお礼の言葉を〇〇〇〇さんがのべ、〇〇〇〇さん〇〇〇〇さんがプレゼントを贈呈しました。渡辺会長からは「皆さんの感謝の気持ちを地域の方々にしっかりと伝えます。いろいろな方々に支えていただいているということを忘れないください。そして、同時に皆さんからもたくさん元気をもらっていることに“ありがとう”と心から伝えたいと思います。」とお話がありました。学校、家庭、地域が一体となった、“チーム城央(460)”への思いを新たにしました。子どもたちには、「この機会に魅力協(みりよくきょう)の正式な名前を覚えてみよう」と話しました。「城山中央小学校魅力ある学校づくり地域協議会」です。子どもたちのために、学校と地域をつなぐ魅力協、いつもありがとうございます。“ありがとう”という言葉の大切さを教えていく時は、まさに今です。

## 6年生の“まごころ”



6年生にとっては“小学校最後の……”が続きます。19日には最後の授業参観がありました。入学式の写真を皮切りに、1年生の思い出、2年生の思い出……と、スライドにそれぞれの思い出をのせて、ナレーションがスタートしました。一人一人、自分だけの思い出が次から次へと語られます。合間には彼らが最も得意とする？プチお笑いのコーナーが盛り込ま

れ、見ている私たちは、お腹の筋肉が張りつめたりよじれたり。楽しい時間が過ぎていきました。後半はガラリと雰囲気が変わり、映像にのせて歌のプレゼント“花は咲く”。最後にお手紙を渡す頃には、ハンカチで涙をぬぐう姿、お子さんをぎゅっと抱きしめる姿がそちらこちらに。ちょっと照れながらも感謝の“まごころ”をしっかりと伝えようとする6年生、そしてそれを支える担任の思いがお家の方に届いた、とても温かな会でした。

そして校庭では次期最上級生が……→



# ゆいのき 三二

速報版 41

R3.3.2

室田和宏

“まごころ” が引き継がれていきます・・・



「私はもうすぐ卒業です。今思うと、長いようで短い、あっという間の6年間でした。この城山中央小学校は自然が豊かで、また、1年生から6年生までみんな仲が良くとても素晴らしい学校だと思います。私たちは卒業してしましますが、これからもみんなで協力してよりよい城山中央小学校にしていってください。」6年生を送る会での卒業生を代表した〇〇〇〇さんの挨拶の一節で

す。こうして伝統が引き継がれていこうとしています。会の冒頭、5年生の〇〇〇〇さんの挨拶では「どんな時も6年生が先頭に立って行動してくださいのおかげで、私たちは安心して学校生活を送ることができました。自分から進んでたくさんの仕事をしていく6年生はとてもかっこ良く、とても印象に残っています。私も今の6年生のように頼られる最上級生になりたいと思いました。」



校舎の窓に飾られた、色とりどりの桜の花がいっそう輝いて見えた瞬間でした。

音楽集会を実施することができないので、令和2年度文化芸術活動の継続支援事業によるボランティア演奏DVDを鑑賞しました。本校の卒業生で創立120周年事業の際にもお越しいただいたピアニスト加藤紗耶香さんとソプラノ歌手市村柁美さんの演奏です。「まごころ広場の歌」と「鬼滅の刃メドレー」など、なじみのある曲を聴かせていただくことができました。

感謝の会で渡すことのできなかつたプレゼントを、企画委員会の児童が朝の登校時に渡すことができました。サポーターさんも突然のことで驚かれていましたが、サプライズで喜んでいただくことは大成功だったようです。

そして4年生が大谷石の灯籠の装飾を修繕していました。今年は夢あかり祭への参加はかないませんでしたが、本校元PTA会長亀井丈彦様の計らいにより、3年生が石灯籠制作の体験活動を行うことができました。宇都宮学、そして総合的な学習の一環として、大切にしていきたい活動です。

音楽鑑賞

まごころサポーターさんへプレゼント

大谷石の灯籠



# ゆいのき

三二

速報版 42

R3.3.9

室田和宏

次年度の教育課程の骨子ができてきました。2月19日付の通知で主な学校行事や下校時刻などについてお知らせしましたのでご確認ください。令和3年度は新学習指導要領の完全実施2年目に入り、より一層の充実が必要です。今年1年間の子どもの姿と、全教職員の思いを重ね合わせ、検討を重ねた結果、学校教育目標を次のように改訂することにしました。

主体的な学び、豊かなまごころ、健やかな体を持ち、  
地域とつながりよりよい社会と未来の創り手となって  
たくましく生きる児童を育成する

子どもたちが、自分事として何事にも主体的に取り組む姿、まごころ日本一を目指して優しく豊かな心を育てていく姿、心身ともに健やかにたくましく成長していく姿を、地域・保護者の皆様と共に描きながら「**社会に開かれた教育課程**」を積極的に体现し、本校教育をますます充実させてまいります。コロナ禍、6年生が先頭に立って引っ張ってくれた1年間の功績を、これまで先輩方が創り上げてきた伝統の上にとしっかりと積み重ね、在校生たちへ引き継いでいきましょう。

一方で「**教職員の働き方改革**」も喫緊の課題です。本年度も、職員会議の短縮、ICTによる業務の効率化、カリキュラムマネジメント等々に取り組んできましたが、まだまだ業務改善は道半ば、時間外勤務も減少しつつありますが、月平均で60時間弱という現状です。GIGA構想によるICT設備の完備は追い風ですが、運用が波に乗るまでには相当な研修も必要になることでしょう。本校の頼りになるPTAや魅力協、地域の皆様のご理解をいただきながら、「もっと子どもたちと向き合い、ふれあい、遊んだり、笑いあったりする時間を確保したい。」といった教職員の願いをかなえていくことが、教育目標達成への近道だと考えています。こちらにも真剣に向き合ってください。

## “460愉快だ！プロジェクト！”

「宇都宮学」の充実を図り、「大谷」を中心とした地域行事への参加を積極的に推進する取組を、3年生以上の総合的な学習の一環として教育課程に位置づけ、「460（しろおう）愉快だ！プロジェクト」と銘打ってスタートしたいと考えています。ご家庭での協力を得て、地域の行事に進んで参加することで、地域の良さを再発見するとともに、主体的に社会に参画する態度を養っていきたいと考えています。裏面に選択活動の例を載せておきます。基本的には、保護者の引率のもとで1回以上の参加を想定しています。コロナ禍、行事が行われない場合や、家庭の都合でどうしても参加できなかった場合等は、適宜相談して学習を進められるよう配慮いたしますのでご安心ください。(裏面に参考資料掲載)

\*\*\*\*\*令和3年度の下校時刻を早めました\*\*\*\*\*

本校では外国語が教科化される前からEタイム(5校時前の10分間)を設けて外国語教育に力を入れてまいりました。本年度から、時間割に外国語の時間が位置付けられたことから、Eタイムを臨時休業対応モジュール学習に充ててまいりました。次年度からはこの時間を廃止し、全体的に日課を15分程度切り上げました(授業時間等に変更はありません)。次年度の計画づくりの参考にしてください。

これまでで一番丁寧な文字で漢字テストを提出した6年生がいたとか。小学校の総まとめ、頑張っていますね。最後まで🍀(はなまる)！在校生も負けずに、学年の仕上げをしっかりと！

# ゆいのき 三二

速報版 43

R3.3.18

室田和宏

## 朝の放送～放送委員長のスピーチ～

「おはようございます。教室の窓は開いていますか？」

いつも通りの、朝の放送が始まりました。そして・・・「今日は3月18日木曜日です。明日は卒業式です。6年間ありがとうございました。皆さんのおかげで楽しい学校生活が送れました。明日の卒業式では1年生から4年生には会えませんが、6年間皆さんのおかげで楽しい思い出が作れました。今日、最後の1日、6年生に話しかけてみてください。」

放送委員会委員長、〇〇〇〇さんの渾身のスピーチ。しっかりと心に届きました。急きょ放送の原稿を見せてもらいましたが、スタンダードダイアリーにメモのように走り書きがしてあり、ところどころには線が引いてあり、自分の字で修正されています。委員長として自分の言葉で気持ちを伝えようとした「まごころ」がそこにこめられていました。

というわけで、慌ててこのお便りを書き始めました。

今朝は、校門のところまで、まごころサポーターさんが来てくださり、「明日で孫が無事卒業できます。今までたいへんお世話になりました。」とお声掛けしていただきました。いえいえ、感謝しなければならぬのは毎日お世話になったこちらの方なのに・・・。このような温かい言葉から、私たち教職員は大きなエネルギーをいただいています。

「こちらこそありがとうございました。卒業式、まごころこめて送り出したいと思います。」



<卒業式前日、6年生が最後のイベント「くす玉???大作戦！」なるものを・・・。大成功?>

### PTAサプライズイベント

15日、役員の皆さんがサプライズイベントを開催してくださいました。若井会長のサプライズ放送に始まり、「紙きり大会」「おもしろクイズ大会」と楽しい催しが続きます。私たち職員のみで賞品を用意していただき、子どもそっちのけでなぞ解きに夢中になっている姿が、あちらこちらの教室で見られました。“ふれあい祭り”でいつも人気の「スライム」を参加賞にいただき、みんなとても楽しそうでした。ありがとうございました。

### GIGAスクール構想 パソコンが届きました!

252台のパソコンが届き、学校支援員さんの力を借りながら、開封と登録処理を行いました。GIGAスクール構想は急ピッチで進められ、職員も市教育センターでの研修に頑張っています。



# ゆいのき 三二

しあわせはいつも……



48名の卒業生が巣立って行きました。こう話しました。

「臨時休業という 過去に例のないスタートを切った今年、すべてのことが今まで通りではなくなりました。しかし、学校に戻ってきた皆さんの表情は明るさに満ちたものでした。最上級生として「私たちが元気を出さないでどうする」そんな気持ちが満ち溢れていました。下級生にとって、その背中も、どれだけ心強かったことでしょう。彼らのあこがれのまなざしは、常に君たちに向けられていました。」そして、あいだみつおさんの次の言葉を送りました。「『しあわせはいつもじぶんの心が決める。』いろいろなことが中止になって、できなかったことを数えたらきりがありません。しかし、『できてよかった』『やってみたら楽しかった』こんな思いは、今年だからこそ、いつもよりも強く、感じられたのかも知れません。」

## 修了式は青空の下で

伝統を引き継いだ在校生たち。卒業式に参加できなかった1年生から4年生はDVDのメッセージで感謝と決意を伝えていました。そして今日は修了式。令和2年度は間違いなくいつまでも記憶に残る1年になるでしょう。2か月の臨時休業を乗り越え、夏休みの補習やモジュール学習も、粘り強く頑張りぬきました。今年の進級の意味はいつもに増して重みがあります。大いに讃えたいと思います。



460  
愉快だ  
宇都宮

UTSUNOMIYA

保護者の皆様、コロナ禍で皆が不安な気持ちになる中、本当に温かなまなざしで私たちの教育活動を見守っていただき、そしてお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。

「みんなで令和2年度を乗り切った証を何か・・・」との思いから“460愉快だ宇都宮”のマークを申請し、作成しました。保護者、地域と一体となったチーム城央(460)の旗印にしていきましょう。